

\*\*\*\*\*  
スクリーン・ミニレポ 217号

2000年6月29日  
大日本スクリーン製造株式会社  
<http://www.screen.co.jp>

\*\*\*\*\*

-----  
今月のニュース

スクリーン、ウエハ洗浄装置が世界トップシェアに  
半導体ビジネスシンポジウムに参加 ~ 業界トップクラスの洗浄装置を紹介  
半導体製造装置の最新技術を「Semicon West 2000」に出展  
国内4支店で「drupa 2000」セミナーを開催  
「JPCA Show 2000」レポート  
20ミクロン幅のプリント基板に対応した検査システム「PI-7900」を発売  
低価格の精密自動測長機「デジタルリーダー DR-5500」を発売  
プリント基板製造工程を効率化するインテグレーションCAMシステムを発売  
取締役の異動

-----

【ご案内】\*\*\*\*\*

「Semicon West 2000」のご案内  
日時：7月10日～12日  
主催：SEMI（国際半導体製造装置材料協会）  
於：Moscone Center（San Francisco）  
当社ブース番号 #6580（North Hall）

\*\*\*\*\*【ご案内】

スクリーン、ウエハ洗浄装置が世界トップシェアに  
世界的に著名な市場調査会社データクエストが発表した1999年(暦年)半導体前工程装置・世界シェア情報によると、「ウエハ洗浄装置」セグメントにおいて当社の世界シェアが23.8%(前年17.6%)\*に躍進し、2位を8.1ポイント引き離して、前年の2位からトップに返り咲きました。中でも当社が販売・技術サポートに注力した台湾市場では、シェアが7.1%から17.5%に、売上ベースでは約3倍に伸びました。

これには、当社のマルチバス方式やワンバス式の洗浄装置の出荷が半導体デバイスの需要増に支えられて大幅に伸びただけでなく、システムLSI、フラッシュメモリーなど多様なデバイス生産に柔軟に対応できるミニラインが構成できる装置として、特に薬液循環槽を備えたワンバス式洗浄装置「FC-821L」が市場に受け入れられたことが背景にあります。( \* 出典：データクエスト GG2000-DNS-002)

半導体ビジネスシンポジウムに参加 ~ 業界トップクラスの洗浄装置を紹介  
6月13日、当社の半導体機器担当の常務執行役員大神信敏が、プレスジャーナル主催の「半導体ビジネスシンポジウム(座長：東芝セミコンダクター社 奥村勝弥氏)」で半導体製造装置の当社ビジネス戦略をプレゼンテーションしました。このシンポジウムは、デジタル情報家電の普及に対応した半導体製造の方向性を探るもので、ファウンドリーメーカーをはじめ半導体メーカー各社から製造部長クラスが、また東京エレクトロンなど装置メーカーから役員クラスの方々からスピーチするなど、今後のSOC(System on Chip)時代に最適な製造環境の構築について講演やパネル討議が熱心に

行われました。

当社は、多様化したニーズに幅広く対応できるミニファブコンセプトに求められる装置理論を展開し、業界トップクラスの洗浄技術を搭載したワンバス式洗浄装置をアピールしました。

#### 半導体製造装置の最新技術を「Semicon West 2000」に出展

当社は、世界最大の半導体製造装置、設備、材料の展示会「Semicon West 2000」に最新機器や技術を出展します。同展示会はSEMI(国際半導体製造装置材料協会)が主催するもので、ウエハプロセス技術など前工程関連の展示会は7月10日～12日サンフランシスコにおいて、検査や組立など後工程関連の展示会は7月12日～14日サンホセにおいて開催されます。当社はサンフランシスコのMoscone Center 内 North Hallにて「Partners in Innovation」をテーマに当社の最新技術をプレゼンテーションやパネル展示で紹介します。

#### 国内4支店で「drupa 2000」セミナーを開催

当社は6月15日～23日、「drupa 2000 フラッシュレポート」と題したセミナーを国内4支店で開催しました。これは、5月にドイツで開催された世界最大の国際印刷機材展「drupa 2000」の様子や製品・技術動向を国内のお客さまにビデオ画像などで紹介するもので、同展で好評を博した当社の刷版出力機(CTP)やデジタル印刷システムをはじめとする最新鋭の印刷関連機器をプレゼンテーションしました。

開催期間には、約1,000名のお客さまが来場し、最新技術や市場動向について熱のこもった質疑応答が交わされるとともに、CTPへの投資やデジタル印刷の優位点に関心が集まりました。

#### 「JPCA Show 2000」レポート

6月7日～9日まで開催された「JPCA Show 2000」。508社が参画した東京・ビッグサイトの会場には約10万人が来場し、プリント基板製造装置や計測機器への積極的な投資意欲がうかがえました。モバイル機器や携帯電話などの用途を中心にしたプリント基板業界の活況を背景に、プリント基板の頻繁な改変や微細化への対応、高精細な回路パターンや最新の部品に対応したプリント製造装置が求められています。

当社は「微細化への提案～Fine Solution」をコンセプトに業界トップクラスの微細化に対応し、プリント基板製造の生産現場にマッチした機器やネットワークを提案しました。

#### 20ミクロン幅のプリント基板に対応した検査システム「PI-7900」を発売

20ミクロン幅の超ファインパターンを持つプリント基板に対応した、業界トップクラスの高精度な光学式外観検査システム「PI-7900」と、ネットワークを介してトータルに検査システムを効率化するAOIサーバー「DC-2000」を2000年6月1日に発売しました。

詳細情報：[http://www.screen.co.jp/press/NR000601\\_1.pdf](http://www.screen.co.jp/press/NR000601_1.pdf)

#### 低価格の精密自動測長機「デジタルリーダー DR-5500」を発売

高精細プリント基板やフィルムパターンに対応した低価格の精密自動測長機「デジタルリーダーDR-5500」を2000年6月1日から販売を開始しました。

詳細情報：[http://www.screen.co.jp/press/NR000601\\_2.pdf](http://www.screen.co.jp/press/NR000601_2.pdf)

#### プリント基板製造工程を効率化するインテグレーションCAMシステムを発売

プリント基板製造工程の効率化を図るため、基板の回路パターンが設計されたCADデータを当社のプリント基板製造装置に取り込むことができるインテグレーションCAMシステム「CI-7000」を2000

年6月7日から国内市場向けに販売しました。

このシステムは、BARCO GRAPHICS NV（本社：ベルギー、バーコ・グラフィックス NV）が販売しているCAMソフトウェア「U-CAM」を、当社がインテグレーションしたシステム。これはバーコ社からのOEM供給によるもので、このソフトウェアの採用により、大日本スクリーンは当社の各種プリント基板業界向け製造装置とあらゆるCADシステムとの接続とデータ交換が可能となり、当社製品の拡販が期待できます。

詳細情報：<http://www.screen.co.jp/press/NR000606.pdf>

#### 取締役の異動

6月29日付で、下記のとおり取締役の異動を行いました。

氏名	新	旧
根本敏男	常務取締役 経営企画本部長	常務執行役員 経営企画本部長
堀場 厚*	取締役（社外取締役） （株式会社堀場製作所 代表取締役社長）	
原 浩	顧問	取締役

\*当社では業務執行の監督機能強化と取締役会のさらなる活性化の観点から社外取締役として株式会社堀場製作所 代表取締役社長・堀場 厚氏を招聘しました。

Copyright (C) 2000、大日本スクリーン製造株式会社 広報室

<http://www.screen.co.jp>

TEL:075-414-7233

掲載記事の無断転載を禁じます。